



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 富士ダイス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6167 URL <https://www.fujidie.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）春田 善和
 問合せ先責任者（役職名）取締役業務本部長（氏名）高安 真生（TEL）03-3759-7182
 半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	8,277	0.8	291	△34.0	394	△21.3	250	△34.2
2024年3月期中間期	8,210	△1.9	441	△23.6	501	△24.1	380	△16.4

（注）包括利益 2025年3月期中間期 416百万円（△23.3%） 2024年3月期中間期 543百万円（△14.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	12.59	—
2024年3月期中間期	19.15	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	25,498	20,451	80.2
2024年3月期	26,138	20,647	79.0

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 20,451百万円 2024年3月期 20,647百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 22円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	1.9	680	△16.0	850	△3.6	590	△16.8	29.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2025年3月期の通期業績予想につきましては、本日（2024年11月14日）公表いたしました「2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 一 、 除外 一社(社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	20,000,000株	2024年3月期	20,000,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	106,012株	2024年3月期	133,780株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	19,875,476株	2024年3月期中間期	19,847,164株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、引き続き緩やかに回復しているものの、ウクライナ情勢に伴う資源・エネルギー価格の高騰や世界的な物価上昇、中東での紛争の発生、長引く円安や中国経済の減速等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況の中、当社グループは「共生」を年度方針に掲げ、高品質・低コスト・短納期・充実したサービスの向上に努めてまいりました。

また、「変化に対応できる企業体質への転換」を目指し、2025年3月期から3ヵ年を対象期間とした中期経営計画を策定しており、1. 経営基盤の強化、2. 生産性向上・業務効率化、3. 海外事業の飛躍、4. 脱炭素・循環型社会への貢献、5. 新事業の確立を重点施策に掲げ、諸施策への取り組みをスタートさせました。具体的な取り組みは以下のとおりです。

1. 経営基盤の強化については、基幹システムの刷新に向けてプロジェクトの推進やコーポレートサイトのリニューアルを実施いたしました。2. 生産性向上・業務効率化については、モデル工場において新たな自動化ロボットを導入いたしました。3. 海外事業の飛躍については、知名度向上や拡販を目指し、中国・北米で開催された展示会に出展いたしました。4. 脱炭素・循環型社会への貢献については、自動車の自動運転用センサー等に用いられるガラスレンズの成形用金型向けとして「フジロイ TR05/TR30」を開発し、前期から販売を本格化させています。その実績が評価され、当該素材の開発および超精密加工技術の確立が「精密工学会ものづくり賞」の最優秀賞を受賞いたしました。5. 新事業の確立につきましては、新規事業の専門組織を立ち上げました。

これらの結果、当中間連結会計期間における売上高は8,277百万円(前中間連結会計期間と比べ0.8%増)となりました。超硬製工具類では、海外向け熱間圧延ロールの販売が好調に推移したものの、昨年度好調であった海外向け溝付きロールの顧客での在庫調整による大幅な売上減少により、売上高は2,053百万円(前中間連結会計期間と比べ12.8%減)となりました。超硬製金型類では、製缶金型や次世代自動車部品向け金型の販売が好調に推移した結果、売上高は2,053百万円(前中間連結会計期間と比べ8.4%増)となりました。その他の超硬製品では、半導体製造装置向けの需要が堅調に推移したほか、海外向けの超硬素材販売が回復傾向となった結果、売上高は2,165百万円(前中間連結会計期間と比べ10.6%増)となりました。超硬以外の製品では、引き続き混練工具の販売が低調に推移したものの、これを補う形で一部の鋼製自動車部品用工具・金型の売上が堅調に推移した結果、売上高は2,005百万円(前中間連結会計期間と比べ0.1%増)となりました。

また利益につきましては、生産性向上・業務効率化の施策等に一定の成果があったものの、原材料の高騰、IT投資や人財投資の拡充により、営業利益は291百万円(前中間連結会計期間と比べ34.0%減)、経常利益は394百万円(前中間連結会計期間と比べ21.3%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は250百万円(前中間連結会計期間と比べ34.2%減)となりました。なお、当社グループは耐摩耗工具関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は、14,596百万円(前連結会計年度末15,024百万円)となり、428百万円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が63百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が353百万円、電子記録債権が193百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産は、10,902百万円(前連結会計年度末11,114百万円)となり、212百万円減少いたしました。これは主に、建物及び構築物(純額)が140百万円、機械装置及び運搬具(純額)が129百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は、3,444百万円(前連結会計年度末3,871百万円)となり、426百万円減少いたしました。これは主に、賞与引当金が477百万円増加したものの、未払費用が478百万円、支払手形及び買掛金が213百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債は、1,602百万円(前連結会計年度末1,619百万円)となり、17百万円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、20,451百万円(前連結会計年度末20,647百万円)となり、195百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が250百万円増加、剰余金の配当により利益剰余金が635百万円減少、為替換算調整勘定が178百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ17百万円増加し、7,001百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益394百万円、減価償却費480百万円の計上、売上債権の減少額576百万円などにより1,057百万円の収入(前中間連結会計期間は1,216百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出401百万円などにより464百万円の支出(前中間連結会計期間は724百万円の支出)となりました。この結果、フリー・キャッシュ・フローは592百万円の収入(前中間連結会計期間は491百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額634百万円などにより651百万円の支出(前中間連結会計期間は641百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月15日に公表しました2025年3月期の通期の連結業績予想を修正しております。また、当中間連結会計期間の業績予想と実績値に差異が生じております。

詳細につきましては、本日(2024年11月14日)公表いたしました「2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,381	6,440
受取手形及び売掛金	2,799	2,445
電子記録債権	1,349	1,155
有価証券	1,000	1,000
商品及び製品	202	265
仕掛品	1,772	1,754
原材料及び貯蔵品	1,294	1,305
その他	226	230
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	15,024	14,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,012	4,871
機械装置及び運搬具(純額)	2,211	2,081
工具、器具及び備品(純額)	276	315
土地	2,726	2,740
その他	19	2
有形固定資産合計	10,246	10,011
無形固定資産		
その他	235	262
無形固定資産合計	235	262
投資その他の資産		
投資有価証券	217	202
長期貸付金	7	6
繰延税金資産	366	384
その他	41	35
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	632	627
固定資産合計	11,114	10,902
資産合計	26,138	25,498

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,896	1,683
短期借入金	35	28
リース債務	26	18
未払金	723	581
未払費用	662	183
未払法人税等	166	181
賞与引当金	207	685
役員賞与引当金	22	-
その他	129	82
流動負債合計	3,871	3,444
固定負債		
リース債務	38	32
繰延税金負債	16	14
役員退職慰労引当金	3	3
退職給付に係る負債	1,561	1,551
固定負債合計	1,619	1,602
負債合計	5,491	5,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	164	164
資本剰余金	1	7
利益剰余金	19,896	19,510
自己株式	△83	△65
株主資本合計	19,978	19,616
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105	93
為替換算調整勘定	463	642
退職給付に係る調整累計額	100	99
その他の包括利益累計額合計	669	835
純資産合計	20,647	20,451
負債純資産合計	26,138	25,498

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	8,210	8,277
売上原価	6,110	6,191
売上総利益	2,099	2,086
販売費及び一般管理費	1,658	1,794
営業利益	441	291
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	5	2
受取賃貸料	11	10
為替差益	27	17
補助金収入	8	63
その他	5	7
営業外収益合計	64	108
営業外費用		
支払利息	1	2
寄付金	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	4	4
経常利益	501	394
特別利益		
固定資産売却益	41	0
特別利益合計	41	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	0
減損損失	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前中間純利益	542	394
法人税等	162	101
過年度法人税等	-	42
中間純利益	380	250
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	380	250

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	380	250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	△12
為替換算調整勘定	139	178
退職給付に係る調整額	1	△0
その他の包括利益合計	162	166
中間包括利益	543	416
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	543	416
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	542	394
減価償却費	451	480
減損損失	0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	509	475
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△39	△22
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4	△13
受取利息及び受取配当金	△10	△10
補助金収入	△8	△63
支払利息	1	2
固定資産売却損益(△は益)	△41	△0
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	356	576
棚卸資産の増減額(△は増加)	68	△44
仕入債務の増減額(△は減少)	△187	△230
未払金の増減額(△は減少)	235	97
未払費用の増減額(△は減少)	△483	△479
その他	△80	△24
小計	1,311	1,138
利息及び配当金の受取額	10	10
利息の支払額	△1	△2
補助金の受取額	8	63
法人税等の支払額	△131	△157
法人税等の還付額	19	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,216	1,057
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△385	△419
定期預金の払戻による収入	376	410
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
有形固定資産の取得による支出	△671	△401
有形固定資産の売却による収入	43	0
無形固定資産の取得による支出	△89	△55
貸付金の回収による収入	2	0
その他	△0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△724	△464

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4	27
短期借入金の返済による支出	△4	△37
リース債務の返済による支出	△7	△7
配当金の支払額	△633	△634
財務活動によるキャッシュ・フロー	△641	△651
現金及び現金同等物に係る換算差額	57	75
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△92	17
現金及び現金同等物の期首残高	7,193	6,983
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,101	7,001

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。
--